

# きたうら

## 村の人口と世帯

昭和50年3月末日住民基本台帳調

		前月比
世帯数	2,376	減 2
人口	11,126	減 34
男	5,493	減 9
女	5,633	減 25

昭和50年3月31日発行 第172号◆発行と編集 茨城県行方郡北浦村役場 ☎ 02915 — 2 1 1 1



## 不用品を利用 福祉バザー開く

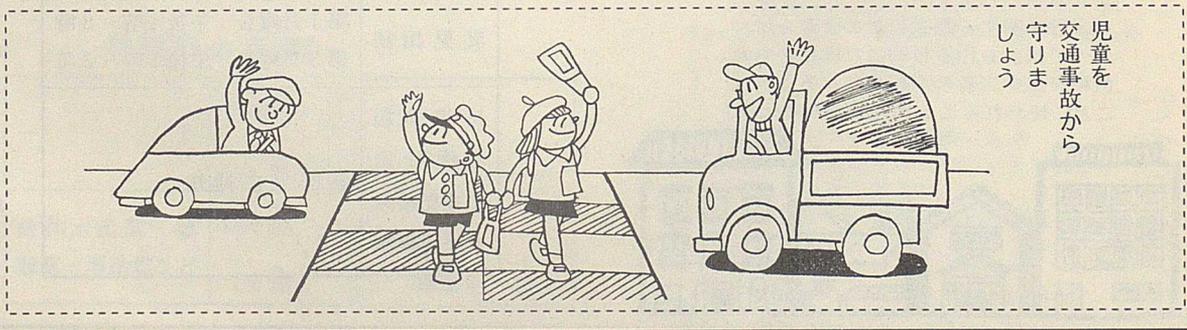
各家庭にある不用品を提供していただいで、それを安価に一般の方々に販売し、売上金を福祉のために役立てようという計画で、「福祉バザー」が開催されました。

この計画は、婦人会の自主的活動によって行なわれました。開催にあたっては、村内に広く呼びかけ、九百七十五名の方々から、衣料品や家庭用品、また色紙など、たくさん品物が提供されました。

物価高のおり、大変人気をよんで、二十三万六千円もの売上金ことができました。

一部の諸雑費を除いて、村社会福祉協議会善意銀行へ預けられ、福祉のために有効に使用されることになりました。

芸術祭開催中と重なって、多数の入場者があり、盛況のうちに、みなさんに大変よろこんでいただくことができました。



児童を  
交通事故から  
守りま  
しょう

# みんなの力できれいな選挙

## 3つの選挙を同じ日に実施 投票用紙・順序をまちがわないで

4月27日

### 投票用紙を間違わないように

四月二十七日には、村長選挙・村議会議員補欠選挙・参議院補欠選挙の三つの選挙が、同じ日に実施されます。三つの選挙を同じ日に実施するのは、村でも初めてのことで、選挙管理委員会では、つぎのことに十分注意し、みんなそろって投票するように、呼びかけています。

投票所では、三種類の投票用紙をできるだけ別々に交付し、間違いないようにしますが、皆さんも投票用紙を間違わないよう、十分注意してください。

投票用紙を間違えると、無効になります。

投票は、次の順序でしていただきます。

### 投票所の場所を確かめて

今回の選挙では、投票所を変更したところがありますので、入場券でよく自分の投票所の場所を確かめてください。

### 村長選挙メモ

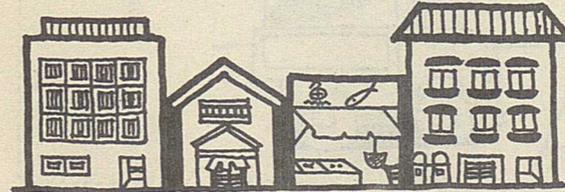
- 告示日 4月20日
- 立候補締切り 4月21日
- 投票日 4月27日  
(参院補欠選挙と同日選挙となる)
- 有権者数 7,731  
(4月3日現在)
- 法定選挙費用(概算)  
村長 536,500円  
議員 313,900円

### ご協力を

「事業所統計調査」にご協力ください。5月15日には、全国一斉に事業所統計調査が実施されます。調査員があなたの事業所にお伺いして、名称・事業の種類・従業員の種類などについておたずねします。

わが国の産業の見取り図を作る重要な統計調査ですので、ご協力くださるようお願いします。

(統計に関する調査したことがらは、すべて統計を作る目的にだけ用いられ、徴税など申告者の不利益になるようなことに使われることは絶対ありません。)



### お知らせ

ご注意ください。母子健康センターでの助産業務が廃止になり、つぎのような内容の仕事になりました。

妊婦検診	第1金曜日 午後1時～3時 第3金曜日 午後1時～3時
乳児相談	第1月曜日 午後1時～3時 第3月曜日 午後1時～3時
母親学級 乳児検診 2才児検診 3才児検診	該当児に通知

## 雇用保険制度が発足

### 失業保険制度を廃止

四月一日からスタート

社会経済の変化に対応するため、現在の失業保険制度が廃止され、四月一日から新たに「雇用保険制度」が発足することになりました。

- 雇用保険の目的  
労働者が失業した場合に給付を行ない、労働者の生活の安定を図り、就職を促進し、あわせて雇用構造の改善、能力の開発向上、福祉の増進を図ります。
- 雇用保険の事業内容  
失業給付・雇用改善事業・能力開発事業・雇用福祉事業。
- 適用範囲  
全産業の雇用労働者を対象として、商業、サービス業などの零細企業も強制適用します。農林水産業については、当面、段階的に強制適用します。
- 失業給付  
■一般保険者の給付  
(1)基本手当(従来の失業保険金)の額は、最高額を引上げ、低所得者のために、上簿(下厚)の給付とし、表一のとおりです。  
(2)給付日数は、表二のとおりで、年令等による就職の難易度によって定められています。  
次の場合には、給付日数が延長されます。  
ア 中高年令者や心身障害者等、就職の困難と認められ

た場合：個別延長給付  
イ 失業情勢が悪化し、失業率が一定の水準に達した場合：全国延長給付  
ウ その他職業訓練等を受講する場合や、失業多発地帯における広域職業紹介対象者の場合

(3)受給期間は原則として一年ですが、傷病、婦人労働者等の場合は、出産、育児などのため、一定期間求職活動ができないことがあるので、その期間を四年まで延長し、将来求職活動ができる時期に給付が受けられるようになります。

■短期雇用特別被保険者の給付  
農林水産業に働く労働者や季節、出稼労働者などは、一年未満の雇用を常態として認めるので、このような人を「短期雇用特別被保険者」として、その生活の実態に即した一時金制度(失業した場合に、五十日分支給)をとります。

■常用就職支度金の支給  
現行の就職支度金制度に加え、高令者、心身障害者、季節労働者、日雇労働者など、常用就職が困難な人々の就職を促進するため、給付日額の三十日分を支給する「常用就

職支度金制度」があります。日雇労働被保険者の給付により、現行の二段階制を改め、一級二千七百円、二級千七百七十円、三級千六百六十円の三段階の給付日額となります。費用の負担  
(1)保険料 表三のとおりです。  
(2)日雇労働被保険者の保険料は現行どおりの方式で徴収されますが、印紙保険料は給付の三段階にあわせて、一級六十三円、二級四十一円、三級二十七円となります。  
(3)高令者の福祉の増進と雇用促進のため、一定年令以上の一般被保険者については、労使の保険料が免除されます。

表 1 基本手当

賃金日額	給付率	給付の日額
1,800円～3,000円	8割～6割	1,440円
3,000円～7,500円	6割	4,500円

(注) 現行制度では、給付率は一律に6割で、給付の日額は870～3,800円。

表 2 給付日数

年 齢	被保険者として雇用された期日	
	1年以上	1年未満
30才未満	90日	90日
30才以上 45才未満	180日	90日
45才以上 55才未満	240日	90日
55才以上	300日	90日
心身障害者等就職困難な者	55才未満 240日	90日
	55才以上 300日	90日

表 3 保険料の負担

一 般	保険料 $\frac{13}{1000}$ (労働者 $\frac{5}{1000}$ 事業主 $\frac{8}{1000}$ )
農林水産業・建設業・酒造業など	保険料 $\frac{15}{1000}$ (労働者 $\frac{6}{1000}$ 事業主 $\frac{9}{1000}$ )

### 募 集

昭和50年国勢調査ポスター・標語募集

本年10月1日に行なわれる国勢調査の広報のため、標語・ポスターを募集します。  
〔ポスター〕

- 用紙はA2判(420mm×594mm)又はB2判(515mm×728mm)
- 色彩は自由
- 原図に国勢調査・昭和50年・10月1日・総理府統計局を入れる。
- 住所・氏名を裏面に記入(小中学生は在学学校名・学年を記入)
- しめきり 昭和50年5月26日

〔標 語〕

- 官製はがきを用い1枚に1点
- 住所・氏名を記入(小中学生は在学学校名・学年を記入)
- しめきり 昭和50年5月26日

応募作品の送付先  
〒162 東京都牛込区内  
総理府統計局



# 緑の大敵

## マツノマダラカミキリ マツノザイセンチュウ

### を防除しよう

○松の枯れる原因は

最近、松の枯損が目立っていますが、これは、松くい虫の一種の「マツノマダラカミキリ」が「マツノザイセンチュウ」という一ミリにもみえない小さな線虫を羽根の裏側や気門に付着させて、前年に枯れた松の中からとび出して、元気な松の新芽や小枝などをかじるとき、その傷あとから松に入って小枝から幹へ移動しながら、猛烈に繁殖し、二、三カ月で松を完全に枯らしてしまいます。このように松の枯れが毎年くり返されると松がなくなってしまう。

### ○防除の方法

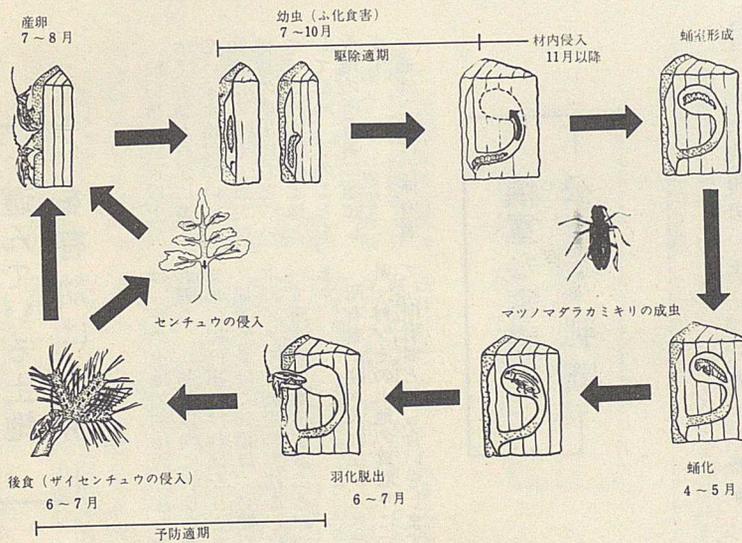
マツノザイセンチュウは、マツノマダラカミキリによって運ばれますので、この「運び屋」であるマツノマダラカミキリを徹底的に駆除することです。

#### 1 予防・成虫駆除

前年枯れた松からマダラカミキリがとび出した頃に薬剤を散布します。

- 予防適期 6月上〜7月上
- 予防薬剤 スミチオン系乳剤 (MEP+EDP) + 二十倍液・バイジット系乳剤 (MPP+EDB 五十〜百倍液)

「マツノマダラカミキリ」と「マツノザイセンチュウ」の生態



2

駆除・幼虫駆除  
今年枯れた松をなるべく早く伐倒して材の中に入っている幼虫を殺します。

(1) 駆除の方法  
① 樹皮をはぎ、小枝とともに焼却する。

(2) 薬剤による駆除：予防薬剤を使用

## 第2回

### 北浦村芸術祭終わる

乳劑 八月〜十一月  
油劑 十一月〜翌年三月

村内の芸術の進展をうながし、文化の向上をはかることを目的として、二月二十四日から一週間、芸術祭が開催されました。昨年にひきつづき、第二回目をむかえ、開催主旨も新しく、盆栽展、民謡民舞大会、俳句会、有名作家色紙短冊展などを加えて、公民館全館をとりしきって行なわれました。

第一回目よりは、内容も充実し、見学者も増えてきましたが、村内にはまだまだ多くの、芸術家や愛好者がおられると思います。これからも開催しますので、より多くの方々の参加を呼びかけたいと思います。

各開催主目の出場、出品点数と受賞作品などは、つぎのとおりです。

#### ■美術の部

- 1 美術展覧会
- (1) 絵画—十七点
  - △優賞一席「秋の奥久慈」
  - 額賀英世(潮来町延方)
  - △優賞二席「惜秋」 笠井通(山田)
  - △優賞三席「鹿行大橋」 沼田正(三和)
  - △優賞三席「晩秋」 飛彈昭夫(両宿)
  - △佳作「母と子」 保坂トミ(内宿)
- (2) 書道—二十七点
  - △村長賞「唐詩」 河野武雄(次木)
  - △議長賞「唐詩」

#### (3) 写真—十八点

- △優賞一席「日が昇る頃」 一条欣二(潮来町辻)
- △優賞二席「静物」 細内一三(次木)
- △優賞三席「パリ島の娘」 富田和(玉造町甲)
- △優賞三席「秋の日」 一条善恵(小幡)
- △佳作「子供」 人見偉策(吉川)

#### ■芸術の部

- 1 吟詠剣詩舞大会—七十八吟
- 2 民謡民舞大会—六十五民舞
- 文学の部
- 1 俳句会—四十八
- 2 有名作家色紙短冊展—百点

#### ■小中学校の部

- 美術展覧会
- 習字—九十四点
- 絵画—百四点